

改修工事が目指すもの

主任司祭 吉池 好高

2012年の信徒総会にあたって、ご挨拶を申し上げます。今年の私たち高円寺教会の大きな課題の一つは、昨年実施された聖堂をはじめとする構内建物の耐震精密診断の結果を受けての耐震補強工事と、それにあわせての、皆様のご要望に基づく、若干のリニューアル工事に向けて、その具体化に取り組むことです。

昨年は2年毎の教会委員長改選の年に当っておりましたが、本格的に始動し始めた前記のプロジェクトの継続性を考慮して、引き続き、吉田憲一さんに教会委員長として当面の課題に取り組んでいただくことをお願いいたしました。ご多忙の中、多大な心労を伴う困難なお役をお引き受けいただいた吉田委員長ならびに副委員長の皆様に感謝申し上げますとともに、事情に鑑みての、皆様方のご理解と一層のご協力をお願い申し上げる次第です。

今回の工事は、言うまでもなく、予想されている大地震に備えて、私たちの教会の建物の安全性を担保し、合わせて、老朽化に伴って不便を感じているいくつかの箇所を改修することを目指すものですが、それだけではない理由もあることを忘れてはいけません。

形あるすべてのものは、いずれは更新されるべき時を迎えます。耐用年数をとうに経過した聖堂をはじめとする高円寺教会の景観を形作っている建物は、本来なら更新してしかるべきかも知れませんが、私たちがそのような選択をしなかったのは、今直ちにそのような方向を選択するためには、十分な資金的見通しが立たなかったからだけではありません。何よりも、今の高円寺教会のたたずまいに、私たちが愛着を感じているからです。私たちが愛してきた高円寺教会のたたずまいをできるだけ長く保ち続けたいという願いが、今回のプロジェクトの根底をなしているのです。私たちのこの思いには、高円寺教会の創始者で、今も高円寺教会の歴史を語る上で忘れることのできないマイエ神父様をはじめとする、高円寺教会の聖堂を信仰の拠りどころとして生きて来られた諸先輩方への敬意が込められているのです。そのような思いで一つになって取り組んでまいりたいと思います。

(信徒総会 2012年1月29日)